

様式第2号（8関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回ひたちなか市環境審議会	
開 催 日 時	令和6年7月31日（水）14時00分～16時00分	
開 催 場 所	ワークプラザ勝田 研修室2	
出 席 者	委員（者）氏名	原口委員，小松崎委員，間瀬委員，小橋川委員，森島委員， 岩田委員，深谷委員，小林委員，中村委員，白土委員， 小川委員
	担当部課職員職氏名	松本経済環境部長 出澤環境政策課長 小澤環境政策課長補佐兼係長（環境政策担当） 高橋環境政策課係長（環境対策担当） 野尻環境政策課主任 奥村環境政策課主事 押嶋環境政策課主事 石崎下水道課長 長谷川下水道課長補佐 平野下水道課係長 大竹下水道課係長 小林下水道課主任
会 議 次 第 及 び 会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	ひたちなか市環境審議会 次第 1 開会 2 会長・副会長選出 3 会長挨拶 4 議事 審議事項 ・地域再生計画仮評価・新規計画の策定について 報告事項 ・第3次エコオフィス計画改定について 5 その他 ・ひたちなか市再生可能エネルギービジョン(仮称)の進 捗状況等について 6 閉会	
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)		
傍 聴 者 の 数	0名	
会 議 資 料 の 名 称	・ひたちなか市環境審議会委員名簿，事務局名簿 ・ひたちなか市附属機関の設置に関する条例 ・ひたちなか市環境審議会運営規程 ・地方創生整備推進交付金に係る地域再生計画仮評価につい て ・ひたちなか市第3次エコオフィス計画の改定について	

	・ひたちなか市再生可能エネルギービジョン策定等実施スケジュール
会議録の作成方法	要約方式
その他の	

審議内容（発言者，発言内容，審議経過，決定事項等）	
事務局	1 開会
小松崎会長	2 会長・副会長選出 事務局推薦案により，小松崎会長と森島副会長が選出された。
事務局	3 会長挨拶 会長挨拶に続き，令和6年度は委員改選のため，出席委員全員が自己紹介をした。
事務局	4 議事 審議事項 ・地域再生計画の仮評価・新規計画の策定について 説明資料に基づき説明を行った。質問や意見，提案等があり，全員一致で了承となった。内容は次のとおり。
森島委員	（質問，意見，提案等） 地域再生計画について環境審議会で審議しなければならないという根拠はあるのか。また，新規計画について転出超過数減少という目標があるが，環境審議会の審議対象になるか。
下水道課	現計画が今年度終了予定だが，同一の計画区域内で連続して，次年度から新規計画を国に申請する場合は今年度中に自己評価が必要である。自己評価が間に合わない場合には，仮評価を実施して新規計画に反映せよと国から指示があり，当審議会で審議をしている。 また，新規計画目標内の転出超過数の減少が当審議会の審議対象になるのかについては，当該案件に近い事案を審議する会を企画調整課で所管していることは把握しているが，どの審議会で審議するかは企画調整

	<p>課と調整中である。ただ、地域再生計画は現計画についても当審議会で審議いただいておりますが、目標の中に環境に関する事が大きく掲げられているため、新計画についても当審議会でも審議いただきたい。</p>
小川委員	<p>説明の中で河川の透視度83.3%の目標を達成しているようだが、河川の透視度だけで水質改善は計れないと考える。BODや国の基準などは評価をしているのか。</p>
事務局	<p>BODも主流な水質の基準ではあるが、今計画では基本的に項目を1つ抽出する形にしている。また、BODにおいては、市内で数値が悪い河川があるが、現在原因究明段階であるため、目標値として設定していない。</p>
原口委員	<p>今回、交付金の交付事業と関わっているということだと思うが、下水道課の方は達成したため計画変更をしてさらに交付金の追加があったということだが、今回の目標を透視度ではなくBODとして、目標達成できなかった場合には、交付金の金額に影響があるのか。</p>
下水道課	<p>今のところ目標未達成により交付金の減額等があるかについては、内閣府の方から示されておらず不明である。ただし、新計画について今後内閣府等からヒアリングを受け、その中で目標未達成により計画が採択されない可能性があると同っている。また、新計画について内閣府から条件として現計画について当審議会の中で仮評価を行い、その内容についてヒアリング等を実施し、新計画にも文章として盛り込まなければならないと決められている。補助金交付を受け、事業を継続するには現計画の仮評価を審議いただき、継続すべきだとあれば新計画の策定、申請をしていきたい。</p> <p>また、新計画の目標はデジタル田園都市国家構想法に依り、目標が市全体の人口増になる施策、もしくは住民の満足度の向上を図ることなどが国から指定され</p>

	<p>ている。よって新目標では転出超過数削減を目標としている。ただし、内閣府等のヒアリングで指摘があれば修正する可能性もあり、その際は当審議会に提示したい。</p>
原口委員	<p>承知した。国からの目標や条件の指定がある中で地域の課題を解決するために計画を作ることは困難であるため、計画を戦略的に練っていく必要があると理解できた。</p>
事務局	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次エコオフィス計画の改定について <p>説明資料に基づき説明を行った。質問や意見、提案等があった。内容は次のとおり。</p>
小川委員	<p>(質問, 意見, 提案等)</p> <p>説明の中で照明の LED 化があったが、LED 化を 100% 達成しても 10 数% しか温室効果ガス排出量は削減されない。しかし、電力の使用が大きいものは空調であり、大半を占めているはずである。よって効率を上げなければならないが、窓の放熱が効率を悪くしている。そのため、昨年度も提案したが断熱シートを張った部屋を試験的に一部屋作り、そこで効果測定を試みてはどうだろうか。ぜひ照明だけでなくエアコンなどの空調の効率も検討して欲しい。</p>
事務局	<p>昨年もご意見をいただいております、確かに今回の説明の中でも空調が電気使用料の半分を占めているといわれているが、実際に電気が何にどのぐらい使われているかを調査しなければ、試験の効果がどの程度か測定できない。しかし、電気が照明などの使用先にどの程度使用されているか調査を実施する手法がなく、当施策を実施することは難航している。ただし、前述の通り、空調が電気量の多くを占めているといわれているため、改善が出来るよう模索していく。</p>

